



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ
 コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 元裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 溝口 健二 (TEL) 03-3820-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,907	△7.7	727	△23.3	738	△21.6	396	△20.3
2020年3月期第1四半期	13,978	△2.7	949	△58.2	943	△58.3	496	△53.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 346百万円(△27.9%) 2020年3月期第1四半期 480百万円(△75.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第1四半期	38	37	—	—
2020年3月期第1四半期	46	77	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
2021年3月期第1四半期	108,534	—	40,749	—	35.2	3,703	66	
2020年3月期	109,675	—	40,943	—	35.0	3,722	17	

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 38,236百万円 2020年3月期 38,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	25,100	△9.4	900	△53.2	760	△54.6	410	△62.5	39	71
通期	50,700	△7.4	2,260	△31.2	1,960	△33.3	1,140	△37.5	110	42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	11,344,181株	2020年3月期	11,344,181株
2021年3月期1Q	1,020,071株	2020年3月期	1,020,050株
2021年3月期1Q	10,324,124株	2020年3月期1Q	10,624,710株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の概況

当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルスの世界的流行に伴う内外需の大幅な減少の影響を主因に、売上高は129億7百万円（前年同期比7.7%減）となり、営業利益は7億27百万円（同23.3%減）、経常利益は7億38百万円（同21.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億96百万円（同20.3%減）となりました。

②セグメント別の概況

〈物流部門〉

物流部門では、新型コロナウイルス流行の影響により、国際間の移動制限や国際物流の停滞等が発生したことから、海外引越や港運通関等の国際業務は大幅な減収となりました。一方で、国内業務においては、業務用飲料等の荷動きが落ち込みましたが、前年度下期に新設した営業拠点の本格稼働もあり、保管料・荷役料は増収となりました。この結果、売上高は54億16百万円（前年同期比2.5%減）と小幅な減収にとどまりました。営業利益は国際業務の減収に加えて、新設営業拠点の費用増加、更には物流不動産の顧客入れ替え等もあり、4億77百万円（同32.8%減）となりました。

〈食品部門〉

食品部門では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施した外食業界での営業自粛や在宅勤務の推進等により外食や給食事業者向け販売が落ち込み、量販・外食向けである精米販売は17千玄米トン（前年同期比5.2%減）となりました。また、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売も外食向け業務用米を中心に需要が低迷し、3千玄米トン（同44.7%減）となりました。売上高は販売数量の減少により63億26百万円（前年同期比13.0%減）となり、営業利益は1億49百万円（同1.8%減）となりました。

〈情報部門〉

情報部門では、昨年度実施した改元や消費税増税対応といった一過性の開発案件がなく、更には、新型コロナウイルス流行の影響により、一部顧客において棚卸の延期や中止が発生したこともあり、売上高は3億65百万円（前年同期比4.6%減）となり、営業利益は41百万円の損失（前年同期は23百万円の損失）となりました。なお、情報部門では棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務において、売上・利益とも棚卸の集中する第2・第4四半期連結会計期間に増加する傾向にあります。

〈不動産部門〉

不動産部門では、4月にヤマタネ藤沢ビルが開業したこと等により、売上高は7億99百万円（前年同期比4.4%増）となり、営業利益は3億60百万円（同7.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

資産合計は、不動産部門における再開発計画の進捗等により有形固定資産は増加しましたが、設備投資資金等の支払により現金及び預金が減少いたしました。また、受取手形及び売掛金の減少等もあったことから、前連結会計年度末比11億40百万円減少し、1,085億34百万円となりました。

②負債

負債合計は、コメ仕入資金の支払等による営業未払金の減少や有利子負債の減少等から、前連結会計年度末比9億46百万円減少し、677億85百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上はあったものの、配当金の支払による利益剰余金の減少やその他有価証券評価差額金の減少があったこと等から、前連結会計年度末比1億93百万円減少し、407億49百万円となりました。

この結果、自己資本比率は35.2%（前連結会計年度末は35.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、新型コロナウイルス流行により、売上高については、物流部門での国際物流の取扱いの減少や食品部門での外食向け業務用米販売の落ち込み等の影響を受けておりますが、利益面においては、物流部門での貨物保管残高の維持や食品部門での堅調な量販店向け販売、更には一部コスト削減効果等もあり、影響は当初予想よりも限定的となりました。しかしながら、新型コロナウイルス流行による経済活動への影響は不確定要素が多く、2020年5月22日に発表した第2四半期累計期間及び通期業績予想を変更しておりません。

本予想については、新型コロナウイルス流行による経済活動への影響が第2四半期末まで続き、その後収束に向かうとの前提に立って策定しておりますが、現時点において、この前提についても変更しておりません。今後、様々な要因により連結業績予想を修正する必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,894	8,015
受取手形及び売掛金	6,865	6,016
たな卸資産	1,995	2,131
その他	2,306	2,195
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	21,061	18,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,039	14,851
土地	50,418	50,418
その他(純額)	8,667	10,574
有形固定資産合計	74,124	75,845
無形固定資産		
投資その他の資産	1,028	1,030
投資有価証券	11,834	11,709
その他	1,482	1,463
貸倒引当金	△97	△97
投資その他の資産合計	13,219	13,075
固定資産合計	88,372	89,951
繰延資産	241	225
資産合計	109,675	108,534
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,399	2,792
短期借入金	6,605	6,266
1年内返済予定の長期借入金	4,200	4,930
1年内償還予定の社債	1,775	1,775
その他	2,532	2,438
流動負債合計	18,514	18,203
固定負債		
社債	18,419	18,419
長期借入金	18,210	17,613
環境対策引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,685	1,676
資産除去債務	2,047	2,043
その他	9,851	9,826
固定負債合計	50,216	49,581
負債合計	68,731	67,785

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,747	3,747
利益剰余金	19,815	19,695
自己株式	△2,233	△2,233
株主資本合計	31,885	31,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,700	3,628
土地再評価差額金	2,872	2,872
退職給付に係る調整累計額	△30	△29
その他の包括利益累計額合計	6,542	6,471
非支配株主持分	2,515	2,512
純資産合計	40,943	40,749
負債純資産合計	109,675	108,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業収益	13,978	12,907
営業原価	12,134	11,261
営業総利益	1,844	1,646
販売費及び一般管理費	895	918
営業利益	949	727
営業外収益		
受取配当金	149	152
その他	3	11
営業外収益合計	153	163
営業外費用		
支払利息	141	136
その他	18	16
営業外費用合計	159	152
経常利益	943	738
特別利益		
固定資産売却益	0	0
ゴルフ会員権売却益	0	-
その他	0	-
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	45	3
投資有価証券評価損	23	-
特別損失合計	68	3
税金等調整前四半期純利益	875	736
法人税等	341	297
四半期純利益	534	438
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	496	396

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	534	438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	△93
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	△53	△92
四半期包括利益	480	346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	456	324
非支配株主に係る四半期包括利益	23	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高							
外部顧客への 売上高	5,558	7,271	382	766	13,978	—	13,978
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	102	—	67	9	179	△179	—
計	5,660	7,271	450	775	14,158	△179	13,978
セグメント利益 又は損失(△)	710	151	△23	334	1,174	△224	949

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△226百万円及び未実現利益調整額1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高							
外部顧客への 売上高	5,416	6,326	365	799	12,907	—	12,907
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	100	—	68	22	191	△191	—
計	5,517	6,326	433	822	13,099	△191	12,907
セグメント利益 又は損失(△)	477	149	△41	360	945	△217	727

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△220百万円及び未実現利益調整額1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。